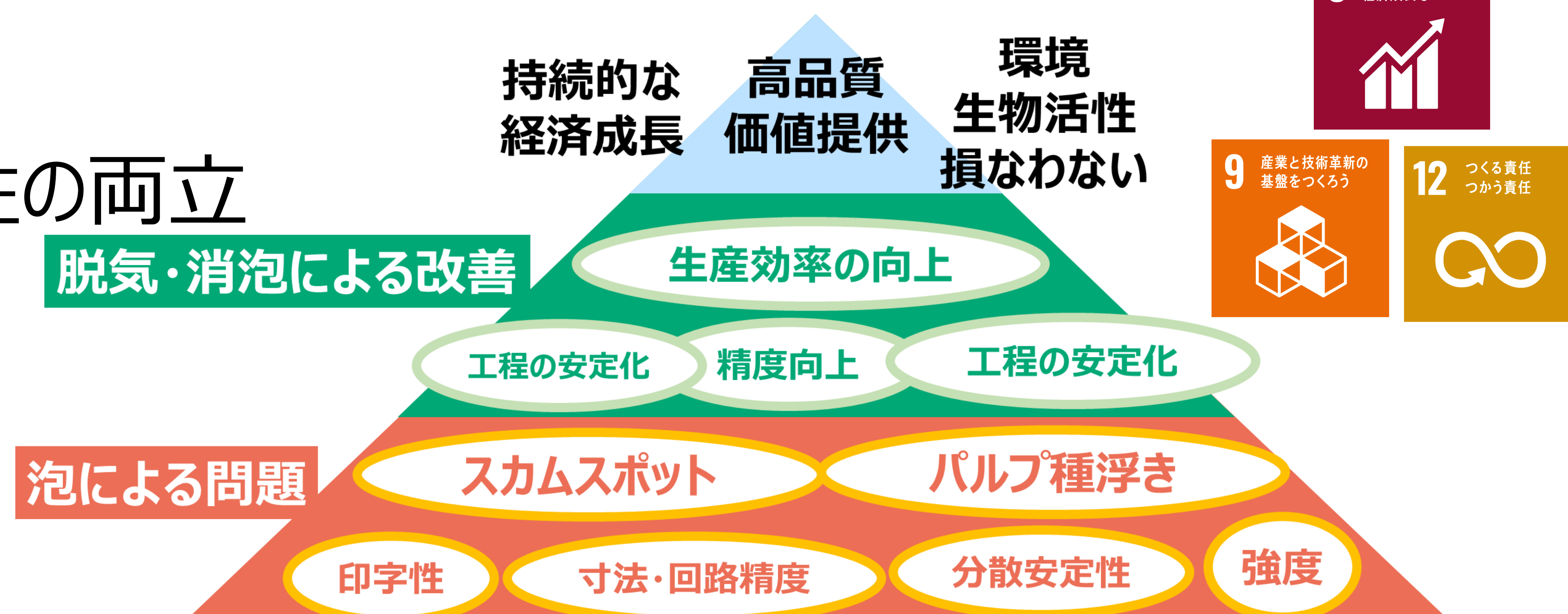


脱気性を備えたサイズへの影響が少ない 自己乳化型消泡剤 フォームレックス J-920

発泡による問題

■ご提案

- ①生産性の安定
- ②脱気・消泡と印字性の両立



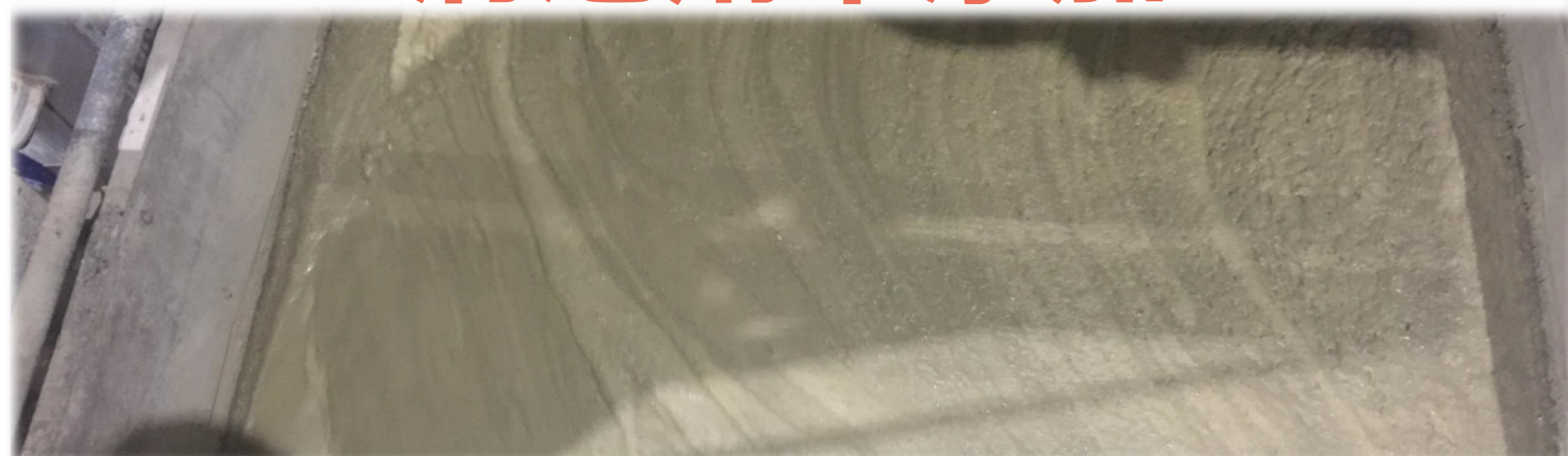
自己乳化型消泡剤の消泡機構および利点

■脱気・消泡性

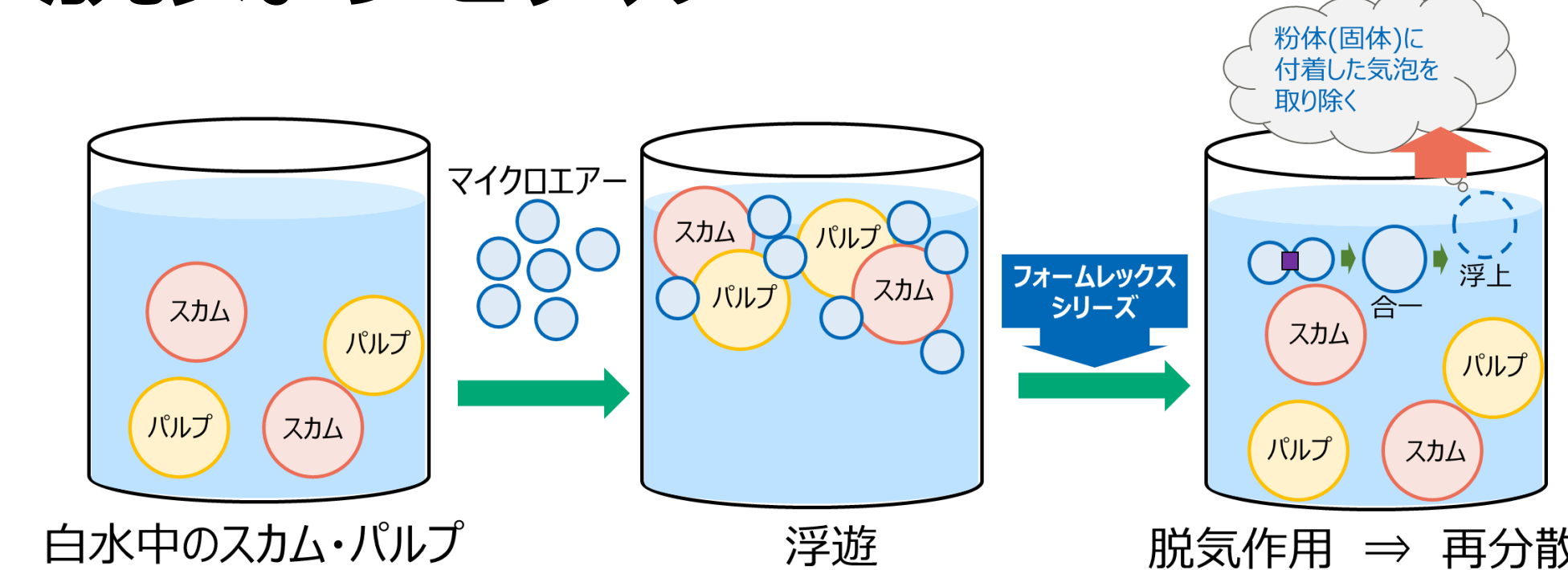
フォームレックスJ-920添加時



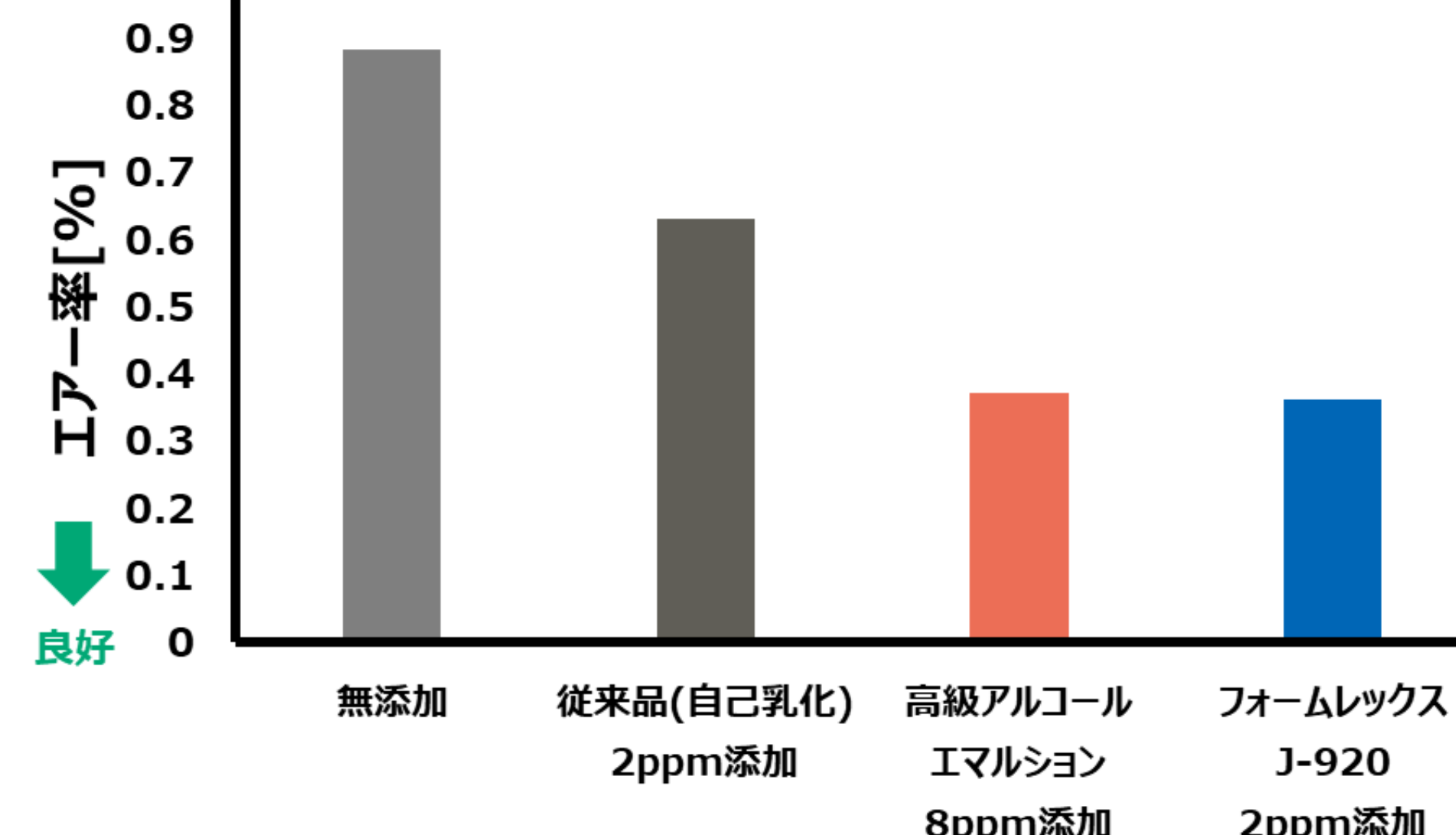
消泡剤未添加



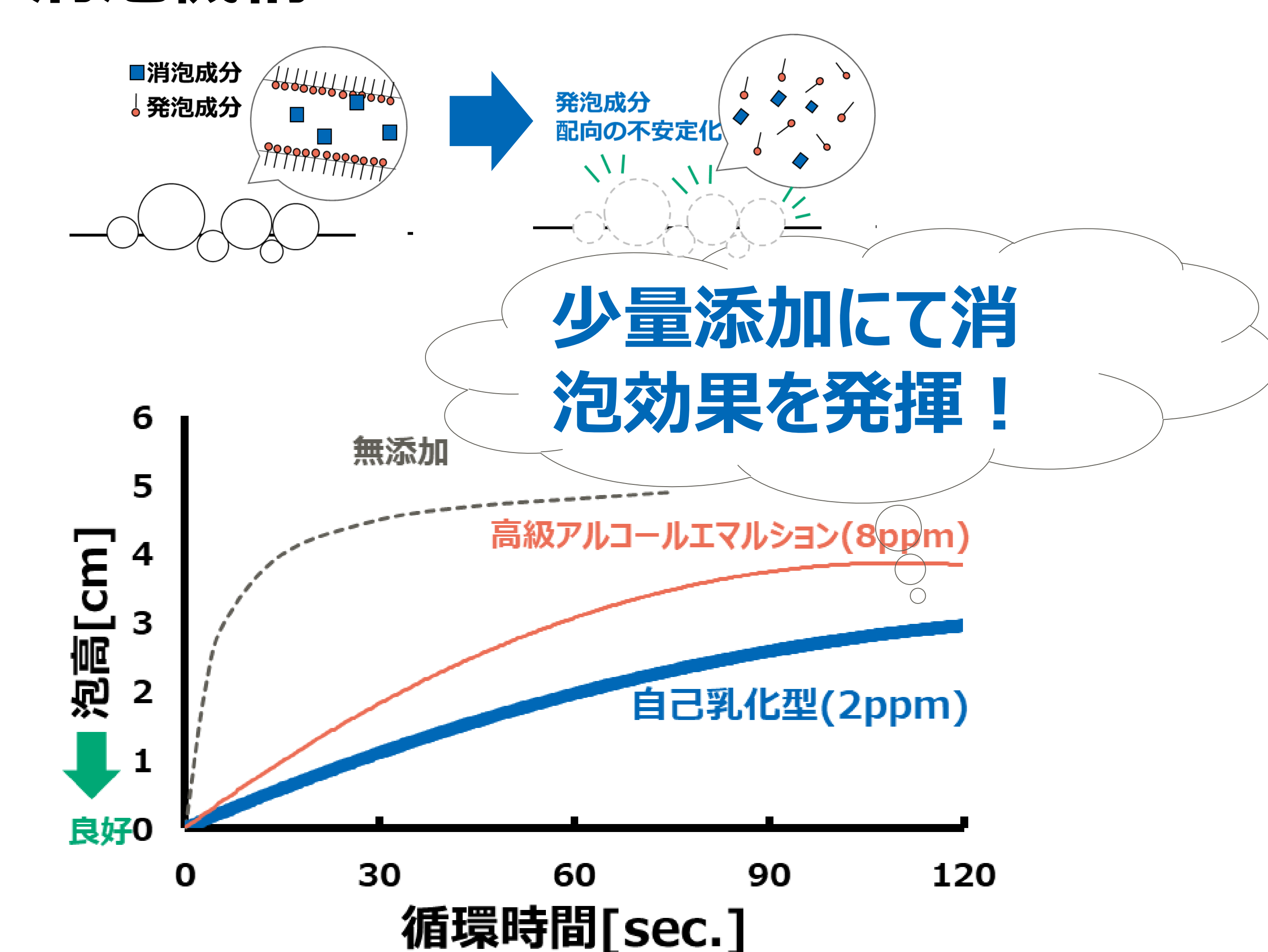
脱気モデル



パルプスラリー中のエア量



消泡機構

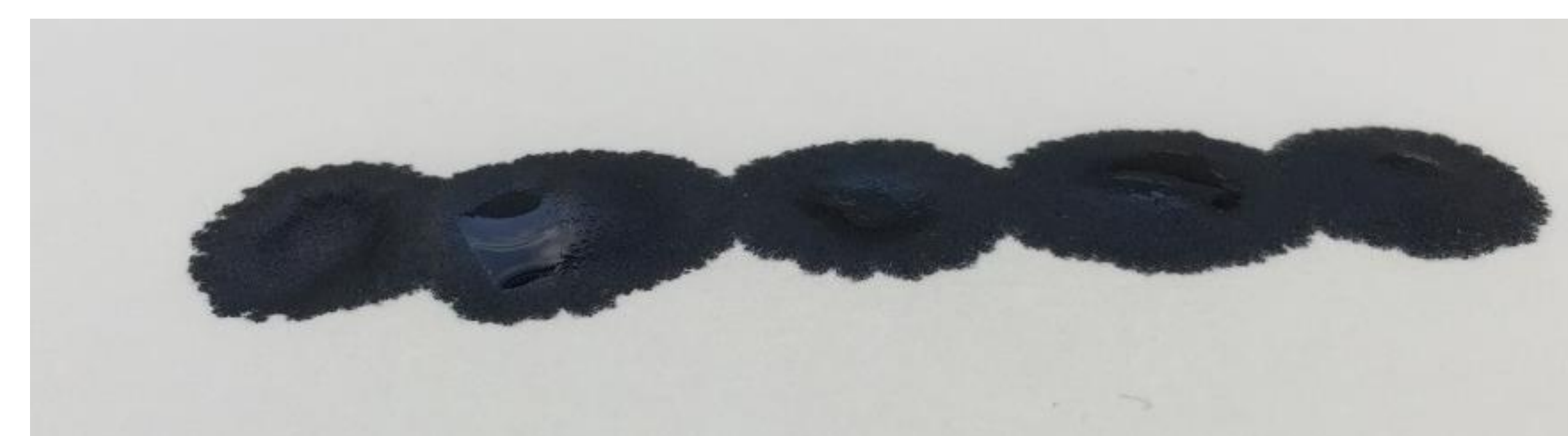


■サイズ度への影響

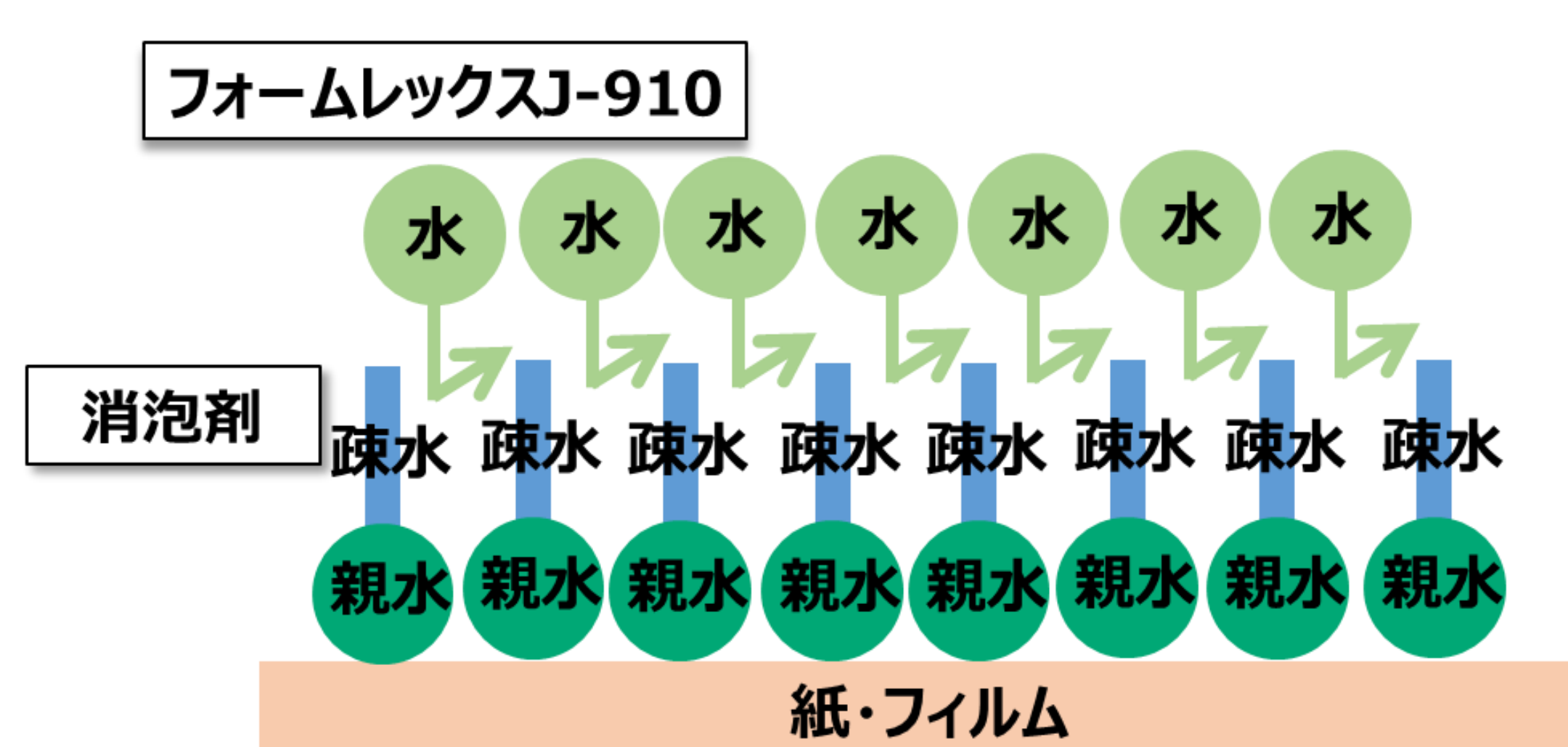
フォームレックス J-920



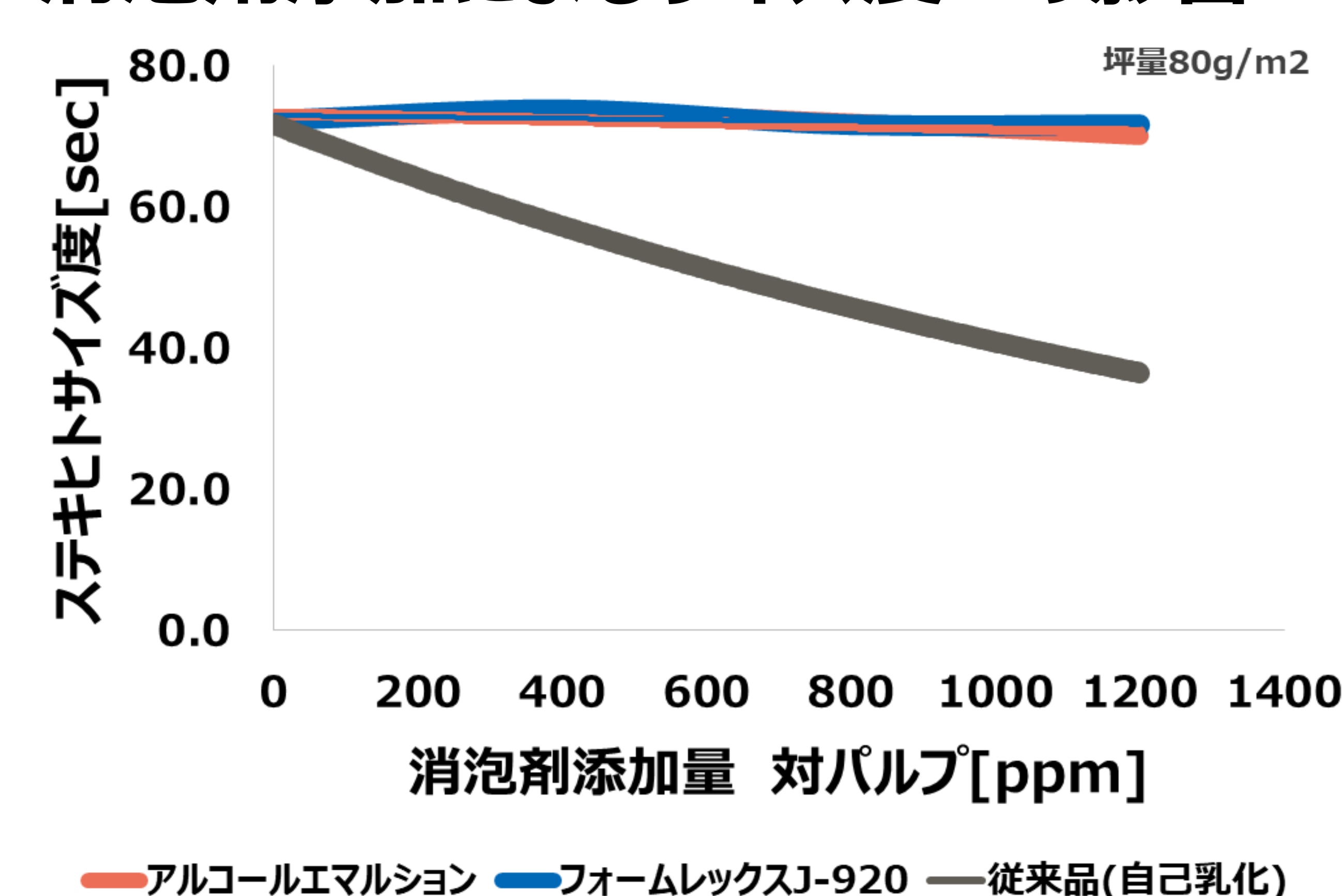
従来自己乳化型消泡剤



水のにじみ防止モデル



消泡剤添加によるサイズ度への影響



水のにじみ防止により加工対象品の印刷品質に影響を与えません

- パルプ繊維に付着する気泡を取り除くことにより、工程水のリサイクル向上に貢献します。
- 消泡成分の水のなじみやすさをコントロールすることにより、紙・フィルム表面に影響を与えず印刷品質安定にすることが可能になりました。ラミネート紙、フィルム等への印刷適性向上が期待されます。
- 添加量減により環境負荷低減に貢献します。